

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	学校指導課
職	課長
氏名	北島 公之

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
1 学校の教育課程、学習指導、生活指導等に関する方針等を定めるとともに、学校が活性化するための指導・助言・援助を行う。 2 特に、本県独自の使命・役割としては、教育に対する県民の関心が高まる中で、教育行政が果たす役割が益々重要となっていることから、令和3年3月に策定した「第3期石川の教育振興基本計画」の具現化に向けて諸施策を着実に推進することにより、教育内容のより一層の充実を図る。 3 教員の急速な世代交代の時期を迎える中、全国的に高い水準にある本県の教育力を維持向上していくために、急増する若手教員の早期育成と将来の学校運営を担う中堅教員の資質向上を図る。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
①自ら課題を見付け主体的に判断し、多様な人々と協働しながらその解決に向けて粘り強く取り組むことができる資質・能力を、小・中・高等学校を通じて身に付けさせます。 ②これまでの教育実践の蓄積と最先端のICTを組み合わせることで、学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びを実現し、学習活動の一層の充実を図ります。 ③学校での学びと実社会との結び付きを意識し、主体的に進路を選択できる能力を高め、望ましい勤労観や職業観を育むことができるよう、発達の段階に応じたキャリア教育を実施します。 ④英語の基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成します。 ⑤障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応した適切な支援を行います。 ⑥いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向け、学校の組織的な対応を行います。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①中学生の高等学校進学率	99.4%(3位)	R3 年度	全国上位堅持	R7 年度	石川県新長期構想
①高校生の大学等進学率	57.9%(13位)	R3 年度	全国上位堅持	R7 年度	石川県新長期構想
②授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合	78.0%	R3 年度	100%	R7 年度	石川県新長期構想
③高校生の就職内定率	99.3%	R3 年度	100%	R7 年度	石川県新長期構想
④県内公立高校生徒の英検準2級以上合格者の割合 (他の検定での同レベルの者を含む)	49.0%	R3 年度	60%	R4 年度	石川県新長期構想
⑤特別支援学校高等部卒業生の就職内定率	98.5%	R3 年度	100%	R4 年度	
⑥高等学校の中途退学率	1.09%	R3 年度	全国平均 (1.40)以下	R4 年度	
⑥いじめ認知件数・不登校児童生徒数	2,983 2,935	R3 年度	2,000以下 1,500以下	R7 年度	



令和4年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 確かな学力の育成	探究型学習の推進、高等学校の特色に応じた取組の充実、学力調査等による現状把握と指導法の改善 など
② GIGAスクール構想の実現による学びの質の向上	ICTを活用した授業の推進、教員のICT活用指導力の向上 など
③ キャリア教育の充実	県内の企業等と連携したキャリア教育の充実、時代のニーズに応じた職業教育の充実 など
④ グローバル人材の育成	金沢大学との連携などによる教員の英語力と指導力の向上 など
⑤ 特別支援教育の充実	特別支援学校の教育・機能の充実 など
⑥ いじめ・不登校等への取組の充実	いじめを見逃さない学校づくりの推進、生徒指導体制やカウンセリングの充実 など

※GIGA(=Global and Innovation Gateway for Allの略語)